

## 愛媛県NPO法人育成支援事業申込書

ふりがな 団体名	(中間支援組織の名称) 愛媛県ボランティア・市民活動センター (運営受託や指定管理の場合は運営団体の名称を追記してください) 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会		
ふりがな 代表者 職氏名	(中間支援組織における代表者の職氏名) 運営委員会 委員長 木村 謙児 中間支援・NPOプロジェクト委員会 リーダー 泉谷 昇 (運営団体の代表者が上記と異なる場合は追記してください)		
設立年月日	(中間支援組織の設置) 平成25年12月19日 (運営団体の設立) 昭和26年 7月10日		
事務所 所在地	(中間支援組織の住所) (〒790-8553) 住所：松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館内 愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課内 (運営団体の住所が上記と異なる場合は追記してください) 同上		
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。		
職員の状況 ※中間支援組織業 務に従事する人 数のみ記載して ください	常勤職員	4人(兼務)	
	その他職員	0人	
会報誌の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	・ 無	ホームページの有無
ホームページ有の場合、 そのアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 <a href="http://www.ehime-shakyo.or.jp/">http://www.ehime-shakyo.or.jp/</a>		

※ 貴団体が作成している広報誌・会報誌等があれば添付してください。

(別紙2)

## 2019年度愛媛県NPO法人育成支援事業 【地域協働推進活動助成】企画提案書

令和元年5月7日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者	団体名	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会 (愛媛県ボランティア・市民活動センター)
総事業費及び 希望する県補助金額	総事業費	321,000円 (うち希望補助金額 300,000円)
事業概要	申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 地域の課題解決に取り組むNPO等(NPO法人、社協、ボランティア・市民活動団体などの民間非営利団体等)及び関係する団体等を対象に、現在の地域における課題(テーマ)を取り上げ、それらを学ぶこと・共有することを通して、多様な団体等とのつながり構築や連携・協働の場づくり、新しい活動への気付き・広がり推進し、NPO法人等の運営基盤強化を目指す。 今年度は、近年増加している地域の外国人に対する平時及び災害時の支援等を切り口とした講座を開催する。	
事業実施期間	令和元年10月頃を予定(年1回開催)	

1 目的・目標	(1) 事業の背景となるNPO法人等の課題やニーズ等について記載してください。 地域の課題解決に取り組むNPO法人等における効率的な事業展開や安定的な活動継続のためには、自団体のみではなく複数の団体が得意分野・強みを活かし、役割を担い合うことで相乗効果を得る「様々な団体との連携・協働」が必要不可欠である。そして、その連携・協働のきっかけとなる多種多様な団体とつながることができる場づくりが求められている。 また、近年、留学生・製造業・介護職の人材受入や観光需要の増加などにより、地域に住む・訪れる外国人の数が大幅に増えている(しかし、災害時の対応など外国人への支援体制についてまだ十分でない現状がある)。NPO法人等が連携・協働による事業展開を進めていくにあたり、今後、外国人(及びその支援団体等)とのかかわりも増えていくことが予想される。
	(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 現在の地域における課題(テーマ)として、今回は近年増加している地域の「外国人に対する平時及び災害時の支援」を取り上げ、それらの事例やあり方について学ぶとともに参加者同士で意見交換等を行う講座を実施し、NPO法人等のつながり構築や活動の広がりにつなげる。
	(3) 事業の目標(NPO法人等の事業力及び運営能力の向上について期待される成果)を記載してください。 本講座の実施を通して、多様な団体(異なる分野のNPO法人等の団体同士、NPO法人等と外国人等)とのつながり構築等を進めることで、各団体の連携・協働の促進や新しい活動への広がり、ひいては組織の運営基盤強化につながる事などが期待される。 また、講座の学びを通して、NPO法人等の災害時におけるリスクマネジメント意識の向上や、各地域における平時及び災害時の外国人支援充実にもつながることも期待される。
	(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。 被災地での事例や外国人留学生等の意見交換等を交えながら、災害時のみではなく普段からの外国人のつながり構築を意識して考えていく。また、外国人が災害弱者としての支援を受ける側となるだけでなく、支える側にもなるという視点も踏まえる。
2 実施体制	貴団体及び協働して事業に取り組む各主体等を含めた事業の実施体制について記載してください。 ○本センター中間支援・NPOプロジェクト委員会による企画・運営 【所属委員】 特定非営利活動法人いよココロザシ大学 / 西条市市民活動センター 新居浜市ボランティア・市民活動センター / NPO法人 SHARE LIFE DESIGN 特定非営利活動法人八幡浜元気プロジェクト 【事務局】 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会
3 スケジュール	事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でもかまいません。) ※別紙2-①のとおり

※適宜、枠を広げてください。

(団体名 愛媛県社会福祉協議会 (愛媛県ボランティア・市民活動センター))

## 事業収支計画書

### 1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
補助金収入	300,000	*「愛媛県NPO法人育成支援事業費補助金」を加えてください。 愛媛県NPO法人育成支援事業費補助金
自主財源	21,000	
収 入 計	321,000	

### 2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
諸謝金支出	100,000	講師謝金
委員等旅費支出	100,000	講師旅費 80,000円 委員旅費 4,000円×5名=20,000円
消耗器具備品費支出	20,000	事務用品代
印刷製本費支出	30,000	資料等印刷代
通信運搬費支出	40,000	郵便等代
会議費支出	1,000	湯茶代
賃借料支出	30,000	会場使用料
支 出 計	321,000	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画（見込）を記載してください。

\* 団体全体の事業計画ではないのでご注意ください。



(別紙2-①)

### 「NPOマネジメント講座」(仮称) 実施スケジュール

愛媛県社会福祉協議会 (愛媛県ボランティア・市民活動センター)

期日 (予定)	内容
令和元年 6月頃	第1回中間支援・NPOプロジェクト委員会 ・今年度実施する講座テーマ(「災害時における外国人への支援」) について協議
7月頃	第2回中間支援・NPOプロジェクト委員会(講座企画) ・第1回委員会で協議した内容を基に、講座の具体的な内容等 について協議
9月頃	第3回中間支援・NPOプロジェクト委員会 ・研修の実施内容、開催要項等の最終確認
9月以降～	講座実施に向けた連絡調整・案内送付・その他当日までの準備等
10月頃	◎「NPOマネジメント講座」(仮称)の開催 <u>※助成申請事業</u>
事業実施後	第4回中間支援・NPOプロジェクト委員会 ・実施事業の評価、効果に関する検討 ・次年度事業の検討

※講座名は仮称としています。委員会内で、今年度のテーマに沿った名称(サブタイトル等)を検討予定です。